

本書之程七第三月七日北郡浪行へ送るなり

國庫債券應募申込書

一國庫債券額面貳千圓也

但額面百圓ニ付價格金九拾五圓ノ割

右大藏省令第四號ニ依リ應募致シ度保證金四拾圓
相添へ此段申込候也

明治三十七年三月七日

山口縣周防國吉敷郡荒川村第百九番屋敷

本間源三郎

日本銀行西部支店

御中

另編如神法也

通身身以生身

此所學之

其家也

思以心

年七

一河長好

波、星、目、二

研定臨札

方八午

此由東十二巴

石上 不 矣

方 八 十 方 三 方 五 日

、 此 由 未 十 二 日

、 申 込 一 万 二 千 三 百 三 十 三

他 区 へ 未 申 込

、 申 込 一 万 二 千 三 百 三 十 三

、 申 込 一 万 二 千 三 百 三 十 三

、 申 込 一 万 二 千 三 百 三 十 三

、 申 込 一 万 二 千 三 百 三 十 三

、 申 込 一 万 二 千 三 百 三 十 三

、 申 込 一 万 二 千 三 百 三 十 三

、 申 込 一 万 二 千 三 百 三 十 三

、 申 込 一 万 二 千 三 百 三 十 三

、 申 込 一 万 二 千 三 百 三 十 三

元時、四方月、望

今方月、白、乳、下

夏考、北、平、
4

あ、し、真、は、扱

正、上、扱、中

あ、見、人

二、日、先、七、
京、小、上、船

本、月、極、上、
あ

拜啓

餘實難盡修履益而勇健在賀儀
陳、遠而振古未嘗有、事變、付國辱儀
委祭行、儀公布、成儀、付之國、公、奉、
其、夢、之、心、儀、之、有、之、就、中、信、長、二、所
一人、及、物、之、忠、奉、其、講、之、抽、之、為、能、之、在、奉
有、之、之、採、取、夜、終、之、即、月、十、七、日、於、市、長、
召集、之、意、曲、訓、示、政、要、以、於、之、有、之、町、村
長、之、指、勅、レ、テ、上、下、一、致、精、之、功、力、政、在、表、
之、得、其、募、債、之、結、算、如、何、之、書、之、戰、局、
進行、及、國、民、之、知、識、心、之、監、官、之、國、之、至、大、
之、難、御、之、及、レ、儀、儀、之、付、以、謀、策、下、事、
平、先、向、在、募、且、一、般、之、請、是、所、而、勸、業、

進行及國及部内ノ監官ノ関レ至大ノ
野御之ヲ及レ依儀ニ付以テ其下章ニ
車先由應著且一段由誘着由勸業
ノ上愈好果在叔長務由勸業補在好後
希比ヨリ、由中、以爲寸緒ヲ以テ
得芳慮、殊、部、具、

明治三十七年二月廿日

濱邊 啓

本間源三郎殿

進与由應著類ニ段突効上由在由由

子由由在煩為也

蘇州府志

卷之二

藝文志

考

文以

蘇州府志

卷之二

藝文志

上原資方と相成り物也

一金六千圓 六人

是れ是れ人ニ付千圓宛此計
五千七百五圓同

一金四千圓 七人

是れ是れ人ニ付千圓宛此計
五千七百五圓同

一金七千圓 一人

是れ是れ人ニ付千圓宛此計
五千七百五圓同

一金四千圓 一人

是れ是れ人ニ付千圓宛此計
五千七百五圓同

一金六千五百圓 或は七人

是れ是れ人ニ付千圓宛此計
五千七百五圓同

計金五萬六千五百圓 或は七人

是れ是れ人ニ付千圓宛此計
五千七百五圓同

一 中込之者二人カを提揚スルト見極付
千圓中込ハ二三百圓ナリ

一 同上北南圓中込ハ或百圓ナリ

一 同上六千五百圓中込ハ或百圓ナリ

一 同上東南圓中込ハ或百圓ナリ

一 同上二三百圓中込ハ或百圓ナリ

一 或百圓以上中込ハ或百圓ナリ

一 或百圓以上中込ハ或百圓ナリ

記

嘉川村戸別割當の帳目

一 一割當 三人

一 二割當 三人

一 三割當 五人

一 四割當 六人

一 五割當 九人

一 六割當 八人

一 七割當 九人

一 八割當 八人

一 九割當 三人

一 拾割當 二人

一 拾一割當 一人

計 割當 廿八人

今四國(主)領 首分(集)三升
藤川村(應)首分(元)也

一 金七千八百石 積七回 為積滿
是年(主)人(三)升(七)百(積)七(回)
而積滿(元)也(以)積(分)積(石)積

一 金千八百石 積七回 為積滿
是年(主)人(三)升(六)百(積)七(回)
而積滿(元)也(以)積(分)積(石)積

是年(主)人(三)升(五)百(積)七(回)
而積滿(元)也(以)積(分)積(石)積

二 等(一)五人

一 金貳千六百石 積七回 為積滿

是年(主)人(三)升(五)百(積)七(回)
而積滿(元)也(以)積(分)積(石)積

四 等(一)五人

一 金貳千五百石 積七回

是年(主)人(三)升(四)百(積)七(回)
而積滿(元)也(以)積(分)積(石)積

五 等(一)九人

一 金貳千九百石 積七回 為積滿

是年(主)人(三)升(二)百(積)七(回)
而積滿(元)也(以)積(分)積(石)積

三 等(一)四人

計 金壹萬七千石 積七回

六 等(一)九人
七 等(一)七人

一 金貳千八百石 積七回 為積滿

七 等(一)七人

一 金貳千五百... 四百貳拾七圓
此... 人... 四百貳拾七圓
而... 九... 九...

一 金貳千九百九拾貳圓... 九人

計 金壹千七百七拾八圓... 二人

六等 貳拾九人
七等 貳拾九人

一 金貳千八百七拾七圓... 貳拾九人
此... 人... 貳千八百七拾七圓
此... 人... 貳千八百七拾七圓

九等 九拾九人
拾等

一 金四千五百... 拾九人

此... 人... 貳千八百七拾七圓
此... 人... 貳千八百七拾七圓

計 金壹千四百四拾七圓... 貳拾九人

合計 金貳萬九千二百七拾七圓... 貳拾九人

金貳萬九千二百七拾七圓... 貳拾九人

張... 貳千七百七拾八圓... 貳拾九人

今國債債票分作二寸
嘉川村應募分額又四

是等の投票人

一金七百九拾貳圓五拾陸

是上等五人三寸六百拾七圓

而投票の宛は三寸の以て投票券

投票三枚分は是れ投票七圓五拾陸

投票の

一金千五百拾六圓七圓五拾陸

是上等五人五百拾陸圓

而投票の宛は投票券投票

投票の

三等 五人

一金貳千百九拾七圓五拾陸

是上等五人四百拾七圓五拾陸

而投票の宛は投票の

四等 五人

一金千九百九拾九圓五拾陸

是上等五人二百九拾九圓五拾陸

而投票の宛は投票の

五等 九人

一金貳千五百拾五圓

是上等五人貳千五百拾五圓

而投票の宛は投票の

一 金貳千九百九拾貳圓肆拾陸

千九百九拾貳圓

四拾貳 六人

是上回工六百元拾貳圓之拾陸
元拾貳圓七拾圓以

拾貳 九人

一 金貳千五百之拾五圓

是上回上貳百九拾五圓拾
陸圓之拾圓以

(六拾) 拾陸九人
七拾

一 金貳千三百拾七圓之拾陸

是上回上貳百九拾七圓之拾陸
圓拾貳圓之拾圓以

拾陸 六人

計 金貳萬千九百拾陸圓

一 金四千五百之拾圓

是上回上貳百九拾七圓
而拾陸圓之拾圓以

(六拾) 拾陸九人

是上回上貳百九拾七圓
而拾陸圓之拾圓以

拾陸 九人

合計 金貳萬六千五百五拾圓

擇管益商清福慶賀之至之陳八軍團多事今
日於國庫債券之券集之閱之親之協議申度
儀有之矣問御多用中萬障御練合末八十一日午
前十時無運刻小訂町信丸寺、御末會被下度
為真得真意保單。敬具

明治三十七年二月十八日

吉敷郡長太入保到

本向深者致

村屋前略見之被下邊及日照會而之及嘉川
村國庫借居意幕總丸ノ厚ノ此重及痛縣
津村長止節所ノ山口町道場門前根山津籠(止籠
右側ノ白ノ一ノ門を三ノ瓦標付承知被下ノ店云不
九月吉日ニ即後所ノ報告題

外ニ村役場迄申出ヲ奉リ即後所ノ報告セリ

嘉川村役場(嘉川)

全四ノ六包圍

甘分六區ノ分

全七ノ五包圍

甘分七區ノ分

全七ノ八包圍

甘分八區ノ分

全八ノ八包圍

外ニ各區ノ後ノ申出被リ

全五ノ五包圍

山口縣吉敷郡嘉川村役場

第一区丁卯四区二未丁卯出十二

谷村金六万花千七百五拾月

五百内以上丁卯出未丁卯出

一管前丁卯

一管花千五百月

一管左

一管左

一管左

一管左

一管左

一管左

石門 淳三郎

民永新三郎

鹿田正伴

伊藤嘉兵衛

伊藤敏三郎

小林友海

三浦宗三郎

上田三郎

一管花千四

一管左

一管左

一管左

一管左

一管七百四

一管左

一管左

一管六百四

一管左

一管左

一管五百四

渡辺清介

山本喜六

岡村辰下

赤津安下

白井卯三郎

山崎長平

中村昌吉

秋本涼藏

渡辺三郎

矢野六郎

小畑三郎

北村友九郎

山口縣吉敷郡嘉川村役場

一 卷九
 一 卷九
 一 卷九
 一 卷九
 一 卷九
 一 卷九
 一 卷九
 一 卷九
 一 卷九
 一 卷九
 一 卷九

藤原三郎大市
 佐藤 晴吉
 藤野 重吉
 岡村 恒吉
 平川 芳吉
 石津 松太
 田口 良三
 田村 常吉
 坂崎 榮吉
 坂崎 梅吉
 坂崎 氏吉
 坂崎 志吉

外三周藤原七、分守八百四十一、奉子園地

三月二

上田 孫十郎

本間源三印殿

龍文上段、大足、下段、吉也

山口縣吉敷郡嘉川村役場

Handwritten text in Chinese characters on a lined page. The text is written in a cursive style. The page is framed by a red border. The text is arranged in several lines, with some characters appearing to be part of a larger phrase or sentence. The handwriting is somewhat slanted and fluid.

Handwritten characters, possibly a signature or a specific name, located in the middle of the page.

Small handwritten characters or a mark at the top of the page.

Small handwritten characters or a mark at the bottom of the page.

Small handwritten characters or a mark on the left side of the page.

Small handwritten characters or a mark on the right side of the page.

宣戰ノ 聖詔煥發セラレタル今日ニ於テ國民其ノ心ヲ一ニシ義勇奉公ノ途ニ出ツルハ今茲ニ言ヲ俟タスト雖文明ノ戰爭ハ兵力ノミノ戰爭ニアラスシテ亦財力ノ戰爭ナリ夫レ然リ兵力ノ獨立カ光榮アル戰爭ニ缺クヘカラサル如ク財力ノ充實モ亦戰捷ノ名譽ヲ發揚スルニ於テ必要ノ素件タラスンハアラス外ニ陸海軍ノ將士熱血ヲ以テ戰フヘク内ニハ國民勤苦ヲ以テ戰ヒ偉大ナル兵力ノ後援トナリ之カ活動ヲシテ自由ナラシメサルヘカラス實ニ國民ノ至誠ニ待ツテ軍資ノ供給ヲ饒ニシ始メテ廟謨大ニ振ヒ軍人勇奮シテ内顧ノ憂ナカルヘシ振古未曾有ナル這回ノ戰事ハ宇内各國ノ視線皆我國ニ屬シ國民敵愾心ノ盛否ハ其ノ影響スル所測ルヘカラサルナリ

大元帥陛下ノ御稜威ト陸海軍人ノ忠實勇武トニヨリ戰局ノコト更ニ疑ヲ存セスト雖一時ノ勝敗ニ心ヲ動カスカ如キハ大國民ノ襟度ニアラス帝國臣民タルモノ須ク終始一貫其ノ節ヲ持シ益々生業ニ勵ミ遊逸ヲ戒シメ百方貯蓄ノ途ヲ講シ其ノ資ヲ以テ軍費ノ供給及一國ノ財源ニ備フルハ刻下ノ急務ナリ這回壹億圓庫債券ノ募集ハ五分利付ニシテ五ヶ年償還アルカ故ニ今百圓ニ對シ九拾五圓五拾錢ノ拂込ヲナセハ左ニ示ス如ク利子ノ計算ニ於テモ普通利率ニ比シ決シテ低下ナリト云フヘカラス况ンヤ其ノ拂込ハ八回ナルヲ以テ薄資ノ應募者モ亦甚シキ苦痛ヲ感スルナクシテ軍費ノ

幾部ヲ分擔スルコトヲ得ヘシ帝國臣民タルモノ此際大ニ勤勉蘊蓄シテ國債ノ募集ニ應シ宜シク其
 ノ本分ヲ盡スヘシ
 明治三十七年二月十九日
 吉敷郡長 大久保 前到

國庫債券利子計算

應募額	償還區分	一ケ年分利子	償還差増配當額	計	利子歩合
九五、五〇〇	一ケ年ニテ償還ノトキ	五、〇〇〇	四、五〇〇	五、〇〇〇	年歩 五、二三五
	二ケ年ニテ償還ノトキ	五、〇〇〇	二、二五〇	九、五〇〇	九、九四七
	三ケ年ニテ償還ノトキ	五、〇〇〇	一、五〇〇	七、二五〇	七、五九一
	四ケ年ニテ償還ノトキ	五、〇〇〇	一、一二五	六、五〇〇	六、八〇六
	五ケ年ニテ償還ノトキ	五、〇〇〇	〇、九〇〇	六、一二五	六、四一三
				五、九〇〇	六、一七八

國庫債券發行關係法規

國際法論

國際法論

英法が保有する世界一帯の皇帝が諸大日本國皇帝の忠實勇武たる津有無を以て
 較ばざるに對し其の宣入朕を陸海軍に宣つた極力之を兩國に交戦ノ事ハ其ノ一ト
 有可ハ宣つた各々其ノ職權ニ準て其ノ權能ニ應じて國家ノ目的ヲ達スルニ努力スルニ
 ノ範圍ニ於て一切ノ手段ヲ盡シ盡算ナラザルコトヲ期セシム
 從テニ文明ヲ平和ニ求メ兩國ト友誼ヲ篤クシテ以テ東洋ノ治安ヲ永遠ニ維持シ各
 國ノ權利利益ヲ損傷セシムル事ヲ帝國ノ安全ヲ將來ニ保障スルニ事態ヲ確立スルハ
 且其ノ利益ヲ達スルコトヲ期シ朕カ有可キ亦爾レ朕カ意ヲ體シテ事ニ從テ兩國トノ
 帝國ノ重テ輕國ノ保全ニ盡クセザレバ一日ノ故ニ非ズ是レ兩國常世ノ關係ニ因
 一實ニ帝國安危ノ際所ナラハナラ然レバ兩國一其ノ濟國トノ明約及列國ニ對スル
 均ハラス依然舊例ニ古風シ益々其ノ地歩ヲ鞏固シテ終ニ之ヲ併吞セムトスル
 ノ領有ニ歸セシメ帝國ノ保全ハ支持スルニ由テ爾東ノ平和亦漸ク寧ムヘカラス
 故ニ朕ハ此ノ關係ニ對シテ切ニ注意スルニ由テ時局ヲ解決シ以テ平和ヲ復スル
 日強及強ニ對峙ノ解決ヲ速ニ遂行セシメ爾東ノ平和ヲ復スルニ由テ爾東ノ
 日強及強ニ對峙ノ解決ヲ速ニ遂行セシメ爾東ノ平和ヲ復スルニ由テ爾東ノ

經濟ヲ利シ、國權ノ安全ニ方ニ危急ニ關シ、他國ノ國利ハ爾ハ侵蝕セラルスルニ事既ニ森ニ光ニ也、
國本平和ノ受侵ニ依リ、果アルトシテモ、將來ノ保障ハ今日之ヲ務メ、國ニ及ムカシ外ナシ、故ニ後有
衆ノ忠實勇武ナルニ資シ、國本平和ヲ永遠ニ支保シ、以テ他國ノ光榮ヲ辱セムコトヲ期ス。

御名 御璽

明治三十七年二月十日

各大臣副署

發給書關開ノ證明ヲ經テ、普通憲法第七十條ニ依リ、財政上必要處分ノ件ヲ處可シ、茲ニ之ヲ公布セシム。

御名 御璽

明治三十六年十二月廿八日

明治三十七年九月十一號

第一條 軍備擴充ニ要スル經費支拂ノ爲メ、政府ハ一時借入金ヲ其ノ證明書計ニ依リ、國庫券ニ充テ、發行
使用シ、及國庫債券ヲ發行スルコトヲ得。

第二條 (略)

第四條 第一條及第三條ノ場合ニ於テ一時借入金又ハ國庫債券ニ附スル利息ハ一箇年六分以下トシ、借入金ハ一時借入金ニ在リテハ一箇年以内、國庫債券ニ在リテハ五箇年以内トス。

國庫債券ニ關シテハ前項ノ規定ニ依リ、各整理公債條例ヲ適用ス。

大藏省令第四號

國庫債券發行規程ノ通定ヲ定ム

明治三十七年二月十二日

大藏大臣

國庫債券發行規程

第一條 政府ハ明治三十六年勅令第二百九十一號ニ依リ、國庫債券發行法ヲ發行ス。

第二條 國庫債券利息ノ割合ハ一箇年百分の五トス。

第三條 國庫債券ハ無記名札出トシ、其種類ハ五百圓、五百圓、千圓及五千圓ノ五種トス。但シ、
應募者又ハ所有者ノ名ニ由リ記名ト爲メコトヲ得。

第四條 國庫債券完全ノ還却ノ年ヨリ五箇年以内ニ償還スルモノトス。

第五條 國庫債券ノ利息ハ毎年六月及十二月ニ於テ支拂クベシトス。

第六條 國庫債券ノ發行價格ハ額面額ニ付、若シ過價ニ付、九拾五圓トス。

第七條 國庫債券ノ推定申込期間ハ明治二十七年三月一日ヨリ同月十日マデトス

第八條 推定申込人ハ應命高利貸價格及住所姓名ヲ詳細シテ申込書ニ申込高自額ニ付金紙圓ノ
應命金ヲ添へ日本銀行本支店其他日本銀行ノ定ムル申込所ニ申込スレド但保證金ハ利子ヲ付
ス

第九條 國庫債券應命高利貸額ニ超過スルトキハ大藏大臣ハ應命價格ノ高キモノヨリ順次償還スル
交付シ諸債額ニ滿テシキニ至ラズモ其價格同シキモノハ申込ノ高ニ割合減少スルモノトス但二百
圓以下ノ應命者モ之ヲ減少セズ

第十條 申込ノ明治二十七年二月二十一日マデニ確定スルモノトス
確定トシテ其後申込人ハ通知スレド

第十一條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ左ノ區別ニ依リ繰込ヲ爲スレド但第一回繰込ハ保證金ヲ以
テ之ニ充テ

貳 國庫債券自額ニ付

- 第一回 三月二十一日 新五圓(同前)
- 第二回 四月十六日ヨリ同月二十五日迄 新五圓(同前)
- 第三回 五月十六日ヨリ同月二十五日迄 拾五圓(同前)
- 第四回 七月十六日ヨリ同月二十五日迄 拾五圓(同前)
- 第五回 八月十六日ヨリ同月二十五日迄 拾圓(同前)
- 第六回 九月十六日ヨリ同月二十四日迄 拾五圓(同前)

第七回 十月十七日ヨリ同月二十五日迄 拾五圓(同前)

第八回 十一月十六日ヨリ同月二十五日迄 八圓(同前)

發日價格以上ノ申込ヲ繰シタル者ハ第一回繰込ト共ニ其差額ヲ繰込ムル

第十二條 應命者ノ都合ニ依リ應命額ノ全部又ハ一部ヲ一時ニ繰込モ若クハ後期ノ分ヲ前期ニ繰
上テ繰込ヲ爲スルコトヲ得

第十三條 國庫債券ノ應命者第二回ノ繰込ヲ了シタルトキハ記名ノ假借券ヲ交付シ全額繰込ノ上
一之ヲ引換ニ本債券ヲ交付スル

第十四條 前條ノ假借券ハ買賣譲與シ及買ト請ニ付スルコトヲ得

第十五條 假借券ニ關シテハ明治二十七年大藏省令第十七號ヲ準用ス

第十六條 假借券ヲ紛失シ又ハ消滅シタルモノアルトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テ其事實ヲ日本
銀行本支店若クハ代理店ニ證明シ定ニ假借券ヲ請求スルコトヲ得

第十七條 國庫債券取扱ニ關スル順序ハ本令ニ規定シタルモノノ外ハ明治十九年大藏省令第二十
號整理公債取扱順序ニ據ル

大藏省令第十七號

明治二十七年續令第百四十四號軍事情債條例第四條ニ據テ軍事情債證券買賣譲與及抵當ニ關スル
取扱順序存ノ通知スル

府一、軍事情報證書買賣通典ニ就テ、明治十九年勅令第百六十六號整理公債條例第十六條第十
七號第十八條第十九條ニ據テ、明治十九年大藏省令第百二十號整理公債取扱順序第二十七條第
一十八條第二十九條ヲ適用ス

第一條 軍事情報證書買得店ノ期日ヲ經過シ向付店ニ本簿ヲケモノノ其移込アリシクハ後ハモラサ
シ、取扱店ニ於テ、軍事情報證書ノ買賣通典等ニ依ル名額證書ヲ其サテハド
但書名額書及通典相稱ノ場合ニ於テ、此限ニテラフ
第二條 軍事情報證書ヲ批當ニ差入シタル場合ニ於テモ各額ノ移込金ハ其時々之ヲ該證書ニ記
入スル

大藏省令第百三十號 明治十九年十月

整理公債取扱順序

第一章 整理及證書發行

第一條 整理公債ノ應募者ハ大藏大臣ノ指定スル日限マテニ應募ノ金額並ニ價格ヲ取扱店（日本銀
行本店
店又ハ代理店ヲ云ハ申込ムヘシ）ノ取扱店ニ依リテ

整理公債條例第四條但書ニ據リ記名證書ノ交付ヲ受ムモノハ前項申込ト同時ニ其旨ヲ取扱店へ
申出ヘシ
第二條 整理公債ノ應募者ハ申込トキ大藏大臣ノ指定スル期合ヲ以テ保證金ヲ移込ムヘキモノ
トス但取扱店ハ本文保證金ニ對シ額取證書ヲ交付スヘシ

第三條 整理公債ノ應募者ハ大藏大臣ノ指定スル期日中ニ保證金ヲ扣除シタル時金ノ補込ヲテニ
ヘキモノトシ但取扱店ハ本文移込金ニ對シ額取證書ヲ交付スヘシ
第四條 保證金及移込金額取證書ヲ受取リ未ダ全額ノ補込アリシモノハ本人死亡スルキハ相続人
ヨリ該證書ノ繼承及終身補込ノ旨ヲ書面ニ綴リ取扱店ニ提出スヘシ

第五條 保證金及移込金額取證書ノ各應募者ニ於テ其ノ申込ヲナシタル取扱店ニ批當ニ差入ラズ
ノ外一切之ヲ授受買賣スルヲ得ス
第六條 應募者ハ交付スル整理公債證書ハ大藏大臣其種類ヲ定メ日本銀行本店へ交付スルモノ
トス

第七條 應募者ハ交付スル整理公債證書ハ取扱店ニ於テ保證金額取證書及第一期以下ノ移込金
額取證書ヲ引換ヘ交付スヘシ但取扱店ノ移込金ニ對シタル額ニ額取證書ヲ交付スル現金及他ノ額
取證書ヲ其ノ本證書ト引換ヘスルコトヲ得

第八條 整理公債條例第七條ニ據リ應募額ヲ減少スルコトキハ保證金ヲ還付シ之ニ對スル利息ハ日
割リ以テ支拂フモノトス

第九條 整理公債証券ノ時應有者ノ現金ノ代トシテ從價發行六分以上利付ノ公債証券ヲ以テ申込
テ買入トス得

日本文ノ聯合ニ於テハ最後ノ處込ヲ除キ其聯合ハ大藏大臣ノ指定スル金額ニ超過スルモ妨
ガレ

前項公債証券ノ價格ハ利息ニ交付スル整理公債証券ト共ニ額面ノ金額ヲ以テ計算シ其種類別七分利
公債六分利付金額及ハ還本ノ程度大藏大臣之ヲ定メテ告示スルモノトス

第十條 整理公債証券ノ發行ノ公債証券ヲ以テ申込ノ高ハ需要額ニ超過スルモ之ヲ減少スル義務
公債証券發行ノ日ヨリ現拂込ヲ行ハル從價發行ノ公債証券ニ對スル利子ヲ交付スヘキニ由リ

保費金額第一期以下ノ拂込金ニ相當スル利子ヲ付セタルモノトス

第十一條 整理公債証券發行ノ後整理公債條例第三十條ニ據テ從價發行六分以上利付ノ公債証券
元金ノ代トシテ整理公債証券ノ交付ヲ額面ノ金額ヲ以テ計算スルモノトス

第十二條 整理公債ノ保證金回收證書若クハ拂込金額收證書ヲ紛失シ又ハ消滅シタルモノアルト
キハ二名以上ノ保證人ヲ立テ其事實ヲ取扱い店ニ證明シ更ニ回收證書ヲ請求スルコトヲ得

第二章 利子支拂

第十三條 整理公債ノ利子支拂期日ハ毎年六月一日ヨリ同二十五日マデ十二月一日ヨリ同二十五
日ヨリ同二十五日マデ

第十四條 整理公債ノ利金ノ取扱店ハ於テ利引換ニ之ヲ持参スルモノニ支拂フヘシ但記名証
書ノ利札ハ記名延印ヲナシテハ取扱い店ニ限リ記名者ニ之ヲ支拂フモノトス

第十五條 整理公債証券ノ當座又ハ満期償還ノ時應有スル利子ハ償還スヘキ証券ニ付添ハル當
座利札ニ對シ月割ヲ以テ仕拂フモノトス

第十六條 整理公債條例第二十條第二十五條ニ據リ利子ノ支拂ヲ請求スルモノアルトキハ取扱店
於テ利子回收證書ヲ發シ之ヲ支拂フモノトス

第三章 元金償還

第十七條 整理公債條例第九條但書ニ據リ該公債償還金額ノ對シテキハ日本銀行本店ハ大藏
大臣ノ認可ヲ經テ抽籤ノ期日ヲ定メ官報及五倍以上ノ新聞紙ヲ以テ三日以上之ヲ廣告スヘシ

第十八條 抽籤ノ抽籤ヲ執行シタルトキハ日本銀行本店ヨリ業ニ前條同様ノ手續ヲ以テ當座証券
元金額額加認證書取扱い店等ヲ廣告スヘシ

任地取扱店ニ於テハ前項ノ廣告ニ據リ更ニ適當ノ方法ヲ以テ其地方限リ同様ノ廣告ヲナスヘシ

第十九條 整理公債元金支拂ノ期日ハ各取扱店ニ於テ現金ノ交付ヲ受タル翌日ヨリ十五日間ヲ過
スルコトヲ得

第二十條 整理公債元金ハ各取扱店ニ於テ現金引換ニ之ヲ持参スルモノニ支拂フヘシ但記名證
書ノ元金ハ記名延印ヲナシテハ取扱店ニ限リ記名者ニ之ヲ支拂フモノトス

第二十一條 整理公債証券ノ當座帳目失ノ抽出アルトキ無記名証券ハ整理公債條例第二十五條ハ

準シ其期出キテ第六年記名證書ニ順序第十九條ノ支拂期日後三十日ヲ經過シ尚殘見セザレハ
 元利金ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得但取扱店ニ於テハ預收證書ヲ撤シ之トカモ支拂ヲナスモノトス
 第二十二條 整理公債條例第二十條ニ相當スル證書ニシテ當數ニ係ルモノノ及當數後同種ニ證書
 ナルモノハ代證書ヲ交付セシ取扱店ニ於テ保人連署ノ請求書及預收證書ヲ撤シ元利金ヲ拂渡ス
 ハシ

第四章 證書取扱

第二十三條 整理公債條例第二十四條第二十五條ニ據テ代證書代利札ノ交付ヲ請求スル
 モノハ其旨ヲ取扱店ニ申出ツヘシ取扱店ニテハ預收證書ヲ撤シ之ト引換ニ代證書代利札ヲ交付
 スルモノトス
 但例第二十條ノ場合ニ於テ前條ニ証書明細ヲラサレトモキハ記名證書ハ條例第二十四條無記名證
 書ハ條例第五條ニ準シテ取扱フモノトス
 第二十四條 整理公債證書ノ消滅紛失又ハ毀損汚染ニ由リ交付スヘキ代證書ニハ前證書ニ當時附原
 本ノ利札ヲ附シ其種類ハ前證書ノ種類ト異ナラズトスルハシ
 第二十五條 記名證書ヲ交付スルモノハ取扱店ニ於テ其證書ニ捺印シ記名簿ニ捺印スヘシ
 第二十六條 無記名證書ヲ記名ニ變換スルノ請求ヲ受テキハ取扱店ニ於テ本證書ニ對シテ請取証書
 交付シ本店ニテ支店代理店ハ本店ヲ經由シテ證書ニ記名印ノ押捺ヲ大藏省ノ請求シ證書及記名
 紙ヲ受取ラタレトキハ先キ元交付シテハ請取書ト引換ニ本證書ヲ交付スヘシ

第二十七條 整理公債條例第十七條第十八條及第十九條ニ據テ記名證書ノ名組書換ノ請求アルトキ
 ハ取扱店ニ於テ其證書ニ捺印シ記名簿ニ捺印シテ證書ヲ交付スルモノトス
 第二十八條 整理公債記名證書ノ所有者其取扱店ヲ變換セントコトキハ其旨ヲ甲店ニ申出テ其證
 書ヲ乙店ニ提出シ記名簿ニ捺印ヲ請フヘシ
 第二十九條 甲(債權人)乙(債務人)丙(買受人)取扱店ヲ異ニスルモノニシテ整理公債記名證
 書ノ買取請取ヲナシキハトキハ順序第二十條及第二十八條ノ手續ヲナスヘシ
 第三十條 記名證書所有者ハ戶長ノ保証ヲ經テ其印章ヲ取扱店ニ提出スヘシ但改印改姓名ヲナシ
 タルトキモ亦本條ノ手續ヲナスモノトス
 第三十一條 整理公債條例第二十八條ニ據テハ子材料ノ高一日本銀行ニ於テ之ヲ定メ大藏大臣ノ
 認可ヲ受テハシ

第六十六條 明治十九年十月

整理公債條例

第一條 整理公債ニ從新發行ノ六分以上利付ノ内國債ニ拍賣整理スルモノニ係リテモ
 第二條 整理公債ニ當テ七十五萬圓ヲ限リ大藏大臣出政ノ便宜ヲ計テ兩度之ノ範圍ニテモ
 第三條 整理公債利子ノ割合ハ一歲年百分ノ五トス

第十七條 記名の書に所有者死去シテハ其相続人ハ其請求書ニ正當ノ相続人トシテトテ證書
 石長ノ形書ヲ受テ前姓名簿簿ノ手續ヲ爲スヘシ
 第十八條 記名簿籍ノ所有者ノ遺言ニ依テ相続人ニ非キテ證書ヲ譲リ受テモノアルトキハ右
 相続人ヲ以テ保證人ト爲シ前姓名簿簿ノ手續ヲ爲スヘシ但相続人トシテ地位合於テハ前所有者
 ノ親屬ニ名以上ト以テ保證人ト爲スヘシ
 第十九條 記名簿籍ノ所有者若シテ遺言ニ依テ證書ノ所有權權ニ移轉シテモトキ其引受人ハ其
 制所ノ證書簿ノ紙々之ヲ證書ニ添ヘ前姓名簿簿ノ手續ヲ爲スヘシ
 第二十條 整理公債證書者ハ其利札水次長等ニ由リ消滅シテモトキ二名以上ノ保證人ヲ立テ
 日本銀行本支店又ハ代理店ヲ經由シテ大藏省ニ届出代證書者ヲ以テ利札ノ交付又ハ利子ノ支拂
 ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ大藏省ハ其消滅ノ證據明確ナラト認ムルトキハ前代證書者
 〇〇代利札ヲ交付シ又ハ利子ヲ支拂フヘシ
 第二十一條 整理公債證書又ハ利札ノ紛失シテモトキ日本銀行本支店又ハ代理店ニ届出ハテ其
 發見ノ時奉聞シ
 前項ノ届出アサトキハ銀行ハ直ニ其大藏省ニ報告スルヘシ但證書料ノ届出人ヨリ納メシムルモノト
 第廿二條 公債證書又ハ利札紛失ノ届出アサトキハ日本銀行本支店又ハ代理店ハ之ヲ支拂テ是告
 スルヘシ

第廿三條 紛失届出ノ證書又ハ利札ヲ日本銀行本支店又ハ代理店ニ持參スルモノアルトキ銀行ハ
 之ヲ照テ蓋シ其實ヲ届出人ニ報知シ持參人ト届出人ト相當ノ手續ヲ經由シテ所有權ヲ證明スルコトヲ
 得テ其取扱ヲ爲スヘシ
 第廿四條 記名簿籍紛失届出後一回ノ利子ヲ支拂テ上ハ二名以上ノ保證人ヲ立テ日本銀行本支店
 又ハ代理店ヲ經由シテ大藏省ニ届出代證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
 第廿五條 紛失無記名簿籍其届出ヨリ滿六箇年ヲ過キ紛失利札其支拂期限ヨリ滿四箇年ヲ過キ則
 本發見セザレトキハ届出人ニ代證書ヲ交付シ又ハ利子ヲ支拂フヘシ但本支店限ノ過キテ紛失證
 書又ハ利札ヲ持參スルモノアルトキハ届出人ニ對シテノ起算ノ權アルモノトス
 第廿六條 紛失證書ノ當該ノ制所ノモノトス
 第廿七條 整理公債證書ノ利息又ハ發見シテモトキ日本銀行本支店又ハ代理店ヲ經由シテ其證
 書ヲ大藏省ニ届出シテ證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得大藏省ハ於テ其實正ヲ證明シ得ヘキモノ
 〇〇代證書ヲ交付シ受領シ得キモノニ其取扱權ヲ紛失證書ノ例ニ準セシム
 第廿八條 第十五條ノ證書交換ヲ受テモトキ第十六條第十七條第十八條第十九條ノ名前書簿ノ
 第二十條第二十四條第二十五條第二十七條ノ代證書ヲ受テモトキ長ノ記名簿籍ノ取扱者ヲ發
 更スルコトヲ日本銀行本支店又ハ代理店ノ相當ノ手續ヲ本大藏省ニ納メシムルコトヲ得
 第廿九條 第二十條第二十四條ノ保證人ハ日本銀行本支店又ハ代理店ニ於テ預見スルモノニ限ルヘシ

第三十條 従前發行ノ六分以上利附ノ公債證書ヲ所有スルモノニ元金償還ノ時本人ノ請求ニ由リ
 大藏省ノ都合ヲ以テ整理公債證書ヲ交付スルコトヲ得ル
 第三十一條 整理公債證書ノ製造發行費及ヒ利息ノ募集金ヲ以テ支出スルコトヲ得
 第三十二條 整理公債ノ利息信託利子ノ積立證書ノ書換等ハ關スル取換手續ハ大藏大臣ニ定メ
 日本銀行ヲシテ其事務ヲ取扱ハル

國庫債 分利子 計算

應 象 額	償還 區分	一ヶ年分利子	償還差増配當	計	利子 考合
九五、五〇〇	一ヶ年	五、〇〇〇	四、五〇〇	五、〇〇〇	五、二三五
	二ヶ年	五、〇〇〇	二、二五〇	九、五〇〇	九、九四七
	三ヶ年	五、〇〇〇	一、五〇〇	七、二五〇	七、五九一
	四ヶ年	五、〇〇〇	一、二二五	六、五〇〇	六、八〇六
	五ヶ年	五、〇〇〇	〇、九〇〇	六、一二五	六、四一三
				五、九〇〇	六、一七八

